

# 社会関連データ検証報告書

積水ハウス・リート投資法人 御中  
積水ハウス・アセットマネジメント株式会社 御中

## 1. 検証の対象

一般財団法人日本品質保証機構(以下、「当機構」という。)は、積水ハウス・リート投資法人がその資産運用を委託する積水ハウス・アセットマネジメント株式会社(以下、「本資産運用会社」という。)が作成した「2022年度 積水ハウス・アセットマネジメント株式会社 社会関連データ(KPI 項目)算定報告書」(以下、「算定報告書」という。)に記載された2022年度の社会関連データ(項目については表1のとおり)が、本資産運用会社により作成された「2022年度 積水ハウス・アセットマネジメント株式会社 社会関連データ(KPI 項目)算定ルール」(以下、「算定ルール」という。)に準拠し、正確に算出されていることについて、第三者検証を行った。2022年度とは、2022年2月1日~2023年1月31日までの期間をいう。

検証の目的は、「算定報告書」を客観的に評価し、本資産運用会社の社会関連データの算定の信頼性をより高めることにある。

表1 検証対象項目

1. 女性管理職比率	2. 男性従業員育児休業取得率	3. 1人当たり月平均総労働時間
4. 年次有給休暇取得率	5. 年間社内研修参加率	6. 1人当たり年間社外研修受講回数
7. 「積水ハウスマッチングプログラム」参加率		

※項目1,2,7については2023年1月31日時点、項目3については2022年1月1日~2022年12月31日、項目4については2022年3月11日~2023年3月10日、項目5については2022年4月1日~2023年3月31日の集計データである。

## 2. 実施した検証の概要

当機構は「ISAE3000」に準拠して検証を実施した。本検証業務の対象項目は、表1に示した7項目であり、保証水準は「限定的保証水準」、重要性の量的判断基準値は、各項目の算定数値の5%とした。本検証業務の対象範囲は、本資産運用会社である。

検証では、算定対象範囲の確認、算定シナリオの確認、算定・集計体制の確認、社会関連データに係る算定式の適切性についての確認、社会関連データの算定結果について根拠資料との突き合わせを行った。

## 3. 検証の結論

検証の対象とした「算定報告書」の2022年度の社会関連データの算定結果において、「算定ルール」に準拠せず、正確に算定されていない事項は発見されなかった。

## 4. 留意事項

「算定報告書」の作成責任は本資産運用会社であり、社会関連データ算定結果の検証の結論に関する責任は当機構にある。積水ハウス・リート投資法人及び本資産運用会社と当機構との間には、特定の利害関係はない。

東京都千代田区神田須田町一丁目25番地

一般財団法人日本品質保証機構

理事 浅田純男

